

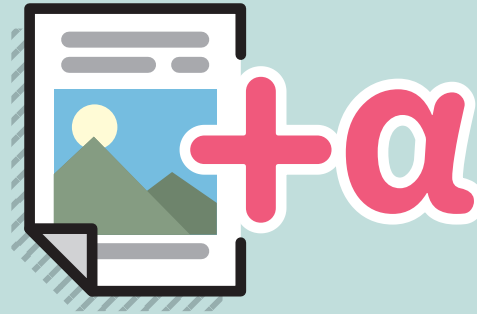


ダイレクトメール

「DMの効果測定」

狙ったお客様に直接お届けできるDMを有能な marketer にしてみませんか？

SankeiPR, INC.



これまで「効果があることはわかっているが、その詳細な数値を計る事が出来ない」事は
いくつもありました。その中には「ダイレクトメール(DM)」もあげられると思います。
もし、これらの「効果」がわかったらどれだけ「マーケティング」に活かせるでしょう？
今回ご提案したいのは、DMの印刷物に設置することで様々なユーザーのレスポンスを
計ることが出来る「効果測定」の方法になります。

「AR」をご存じでしょうか？



「拡張現実」とも呼ばれるものです。

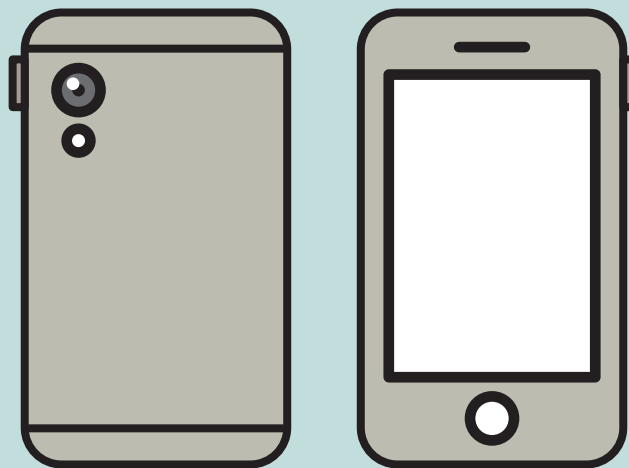
人間が知覚できる現実を利用して拡張性を持たせること、
もしくは拡張された現実世界そのものを呼びます。

具体的には、スマホのカメラ画面を通してテーブルの上にはいないはずの
小さなキリンを映し出し、サハラよろしく机の上を駆けていく…

このようなことを現実化する技術のことです。

「VR」は「仮想現実」。自分自身が実際にコンピュータグラフィックで作られた世界に入り込む状態を
言い、ARとVRは似ているようでまったく別の世界を作り出します。

「AR」を可能とするためには当然
「現実の世界を映し出すカメラ」と「コンピュータ」が
必要になります。この二つを兼ね備えた最も身近な機器といえば……



やはり「スマホ」ですね。

スマホは大変「AR」と親和性が高い機器なのです。



さて、この「AR」と「ダイレクトメールの効果測定」、
この二つにどのようなつながりを持たせるので
しょうか……

実は印刷物に「AR」のキーオブジェクトを配置
することで、お客様に「AR」を楽しんでもらい
ながら、一方こちらは必要な情報を頂戴する。
そのようなマーケティング手法になります。

最初に、スマートフォンアプリ「COCOAR」をインストール！

※COCOARアプリは無料アプリです。

STEP 1 「COCOAR」アプリのインストール



「App Store」もしくは「Google Play」で
「COCOAR」と検索し、インストール
してください。

または、左側のQRコードを読み込み、
「COCOAR」アプリをインストール
してください。

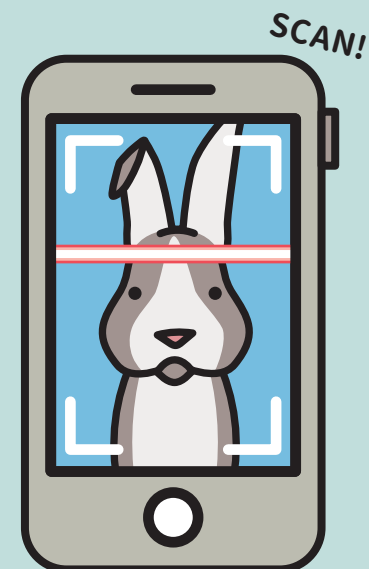
STEP 2 COCOARを起動してかざす



「COCOAR」アプリを起動し、
指定画像にかざしてスキャン
してください。

カメラマークを押すと
撮影することもできます。

「AR」のキーオブジェクトは一般的な「二次元バーコード」はもちろんのこと、事前に定めた「ある画像(もしくは立体物)」に定めることもでき、例えば「ポスター全面」や「POPスタンド」などをキーオブジェクトにすることも可能です。

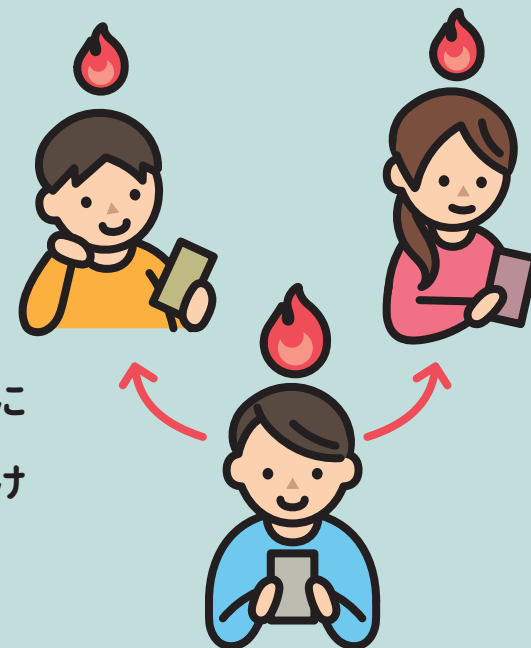


お届けしたDMにキーオブジェクトを配置して、それを「AR」アプリで撮影すると、DMの上にキャラクターが現れ、歌い踊りながら宣伝をする…そんなことが実際に可能になるわけです。



メリット①

一番のメリットは「お客様に楽しんでいただき、告知業務に寄与する」事です。
今はSNSでも拡散が行われますので、効果的な展開が出来ればより多くの方に触れていただける機会が作れるでしょう。はじめに小さな火を灯してあげるだけで大きく燃え上がる炎になる可能性を秘めているのです。

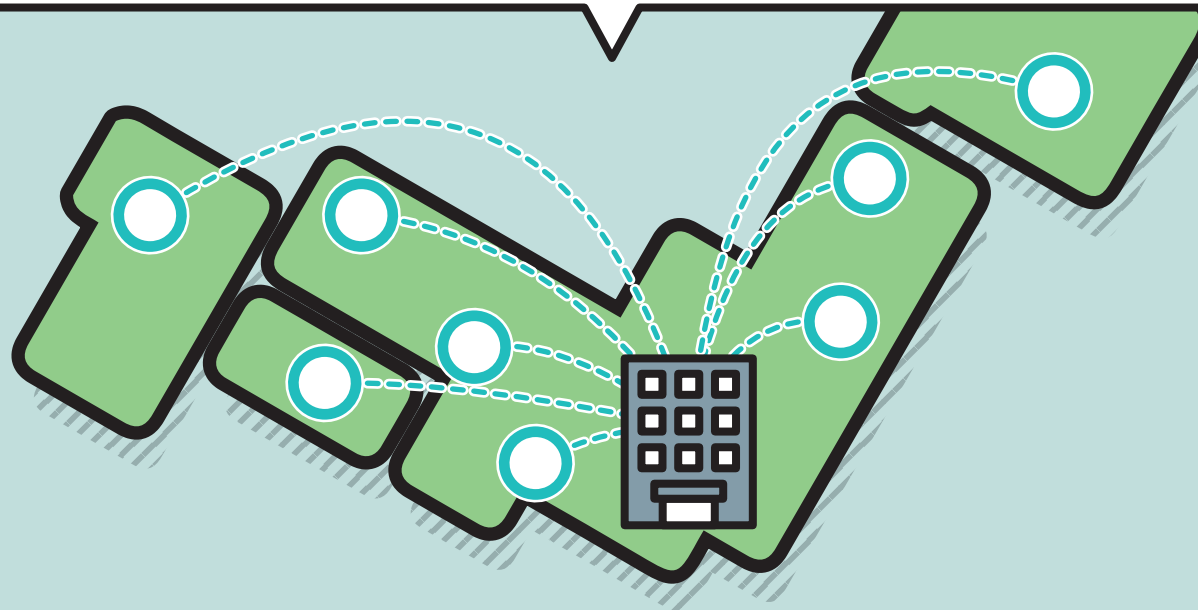


メリット②

次に大きいのは、こうして「体験型のAR」を設置することでより多くのお客様に楽しんでいただきながら、一方でその「体感くださっているお客様の属性情報をログとして記録できていること」です。

「AR」アプリでキーオブジェクトをスキャンいただいた時点で、こちらには「いつ」「どこで」「いくつの方が(年齢)」「男性か女性か(性別)」のログが集計されます。「DMの効果測定」はこの効果を利用して、反響を数値化します。

全国に配布し様々な場所で展開してもらったDMから
どのようにログが取れていくか想像してみてください。



地域・年齢・性別なども含めてエンドユーザーの動向が把握できるということは、
営業ツールとして大変頼もしいエビデンスになっていくと思われます。

これらの属性データはインターネット上でもなかなか取得が難しいものです。
それが「ダイレクトメール」から取得できてしまうとしたら、相当に大きな影響を及
ぼすと思われます。



費用

「AR」の管理にはプログラムが走っているサーバーが必要です。

またスマホ上で起動するには「アプリ」も必要です。

そのままゼロから開発をしたら、その費用は大変な金額になります。

しかし、今回ご提案する内容が非常に高価なサービスであっては意味がありません。

それでは気軽にダイレクトメールに配置が出来ないからです。

そこで、1案件に対し**月額2万円**という設定でご提案いたします。

1案件の内容はいくつであっても「同じコンテンツ」に接続するのであれば1案件とします。「別のコンテンツ」が必要になった場合2案件目になるとお考えください。「同じコンテンツ」で良ければ、途中でコンテンツを入れ替えても1案件です。

課題

ここまでメリットばかりを述べて参りましたが、もちろん課題が無いわけではありません。一番大きいのはいかにお客様に楽しんでもらうかです。というよりもこの1点に全てがかかっていると言っても過言ではありません。楽しんでいただければ(利用してもらえなければ)、ログの取得もありません。

お客様に楽しんでもいただける企画については以下のようなものが考えられます。



ARコンテンツ (3Dポリゴンキャラ)



動画配信



スタンプラリー



電子ブック




プレゼント企画

などなど

元々のコンテンツの属性から、ご興味いただきたいユーザー層を明確にし、それにあった企画を展開する必要があります。

コンテンツサンプルをご案内いたします。

(ここにあるサンプルについては、ご案内なく変更・削除などを行う場合があります。あらかじめご了承ください。)

 **ARコンテンツ** (3Dポリゴンキャラ)



LESSAR 使用
3D ポリゴンキャラクター
静止 AR



LESSAR 使用
3D ポリゴンキャラクター
動体 AR



LESSAR 使用
3D ポリゴンキャラクター
顔認識 AR

 **電子ブック**



Actibook 使用
「ANIMALs」資料
電子 BOOK